

モロヘイヤを練り込んだ緑のうどん 「モロどんの日」が復活

上郡町特産の無農薬モロヘイヤの粉末をうどん生地に練り込んだ「円心モロどん」は、つるりとした食感と高い栄養価が特長の麺です。モロどんが食べられる町内の飲食店の大半が休業する日曜にも味わってもらおうと、2014(平成26)年、毎月第3日曜を「モロどんの日」とし、観光案内所で提供を始めました。24年に酒類販売スペースとの兼ね合いで一時中断しましたが、今年4月、屋外に飲食スペースを設けることで規制をクリアし、約1年半ぶりに復活しました。夏季は冷たい麺を提供します。ぜひ、食べに来てください。((一社)かみごおり観光協会 小河浩美さん)

☎(一社)かみごおり観光協会
☎0791-57-2611
☎0791-57-2622



1 6月～9月の第3日曜
10時～14時(売り切れ次第終了)に提供される「冷やしモロどん」(400円)は1日限定20食。2 駐車場に設置した飲食スペース。



つゆ付きの乾麺
「円心モロどん」
(1箱2食入り650円)
3箱を5人にプレゼント
応募方法は7面へ

車椅子のまま利用できる 足湯が温泉街に



新しい足湯・手湯は、湯村温泉を開湯した高僧の名にちなんで「円仁の湯」と名付けられました。

湯村温泉の地元住民や自治体で構成する新温泉町ユニバーサル社会づくり推進地区協議会は、県の補助金を受け、誰もが楽しめる温泉街づくりを進めています。その一つとして今年4月、荒湯近くのポケットパークに車椅子に座ったまま利用できる足湯を新設。併せて、手湯も設置しました。介助が必要な人は、観光協会に声をかけてもらえればサポートします。癒やしの新スポットで、ゆったりお過ごしください。(新温泉町ユニバーサル社会づくり推進地区協議会会長 角田和寿さん)

☎新温泉町商工観光課
☎0796-82-5625 ☎0796-82-3054



民謡「デカンショ節」で 丹波篠山の魅力を伝えたい

丹波篠山市在住の「日本民謡アーティスト」のSeimaさんは、西日本最大級の民謡の祭典「デカンショ祭」に欠かせない「デカンショ節」で地域の魅力を国内外に伝えています。元市職員で丹波篠山ふるさと大使でもある彼女に、民謡の魅力や活動予定などを聞きました。(取材・文 本紙編集部)

Q.民謡を始めたきっかけは。

8歳の頃、テレビで見た津軽三味線に強く引かれました。近くに津軽三味線教室があることを知り、三味線と共に民謡も習い始めました。

Q.現在の活動に至った経緯は。

市商工観光課の職員だった2018(平成30)年、「NHKのど自慢」が地元で開催されることになり、地域の魅力を伝えようと出場。「デカンショ節」でチャンピオンに選ばれました。これを機に祭りやイベントに呼ばれる機会が増え、本格的に活動を始めました。

Q.「デカンショ節」の魅力は。

丹波篠山の名所や歴史文化を織り込んだ歌詞は400番以上あり、15年には日本遺産第1号に認定されました。盆踊り唄なので思わず踊りたくなる

のはもちろん、手拍子や合いの手が自然と生まれるリズムと節回しが魅力です。海外でうたっても踊りの輪ができます。

Q.今後の活動予定は。

今年の「デカンショ祭」でもうたいます。ぜひ、踊りに来てください。今後は3月8日を「民謡の日」として広め、気軽に参加できるライブを行うなど、国内外に日本の伝統文化と丹波篠山の魅力を発信していきます。

デカンショ祭

「デカンショ節」の生演奏に合わせて数千人が踊る「ヤグラ総踊り」、約1,000発の打ち上げ花火のほか、約200店の屋台も。入場無料。

8月15日④15時～21時15分、16日④16時45分～21時
篠山城跡三の丸広場(丹波篠山市北新町)とその周辺
☎丹波篠山市商工観光課 ☎079-552-6907 ☎079-556-7021



1 2025(令和7)年4月にタイで開催された「スパンブリー国際音楽文化祭」に出演。2 国重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「河原町妻入商家群」で。